

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成19年 7月28日

## 【評価実施概要】

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 事業所番号 | (※評価機関で記入) 1071000168            |
| 法人名   | 有限会社 石松エンジニアリング                  |
| 事業所名  | グループホームひまわり                      |
| 所在地   | 群馬県富岡市宇田509<br>(電話) 0274-64-3170 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構             |
| 所在地   | 群馬県前橋市新前橋町13-12                  |
| 訪問調査日 | 平成19年6月28日                       |

## 【情報提供票より】(H19年 6 月 18日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                 |        |                     |
|-------|-----------------|--------|---------------------|
| 開設年月日 | 平成 12 年 6 月 1 日 |        |                     |
| ユニット数 | 1 ユニット          | 利用定員数計 | 9 人                 |
| 職員数   | 9 人             | 常勤     | 4人, 非常勤 5 人, 常勤換算 人 |

### (2) 建物概要

|      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造造り  |       |       |
|      | 1 階建て | 1 階 ~ | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |           |                |              |
|---------------------|-----------|----------------|--------------|
| 家賃(平均月額)            | 39,000 円  | その他の経費(月額)     | 水道・光熱費 冷暖房費  |
| 敷金                  | 無         |                |              |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有 50,000円 | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 (期間:入居時償却) |
| 食材料費                | 朝食        | 200 円          | 昼食 200 円     |
|                     | 夕食        | 300 円          | おやつ 円        |
| または1日当たり 700円       |           |                |              |

### (4) 利用者の概要( 6 月18 日現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 8 名       | 男性   | 3 名  | 女性 | 5 名  |
| 要介護1  | 3 名       | 要介護2 | 2 名  |    |      |
| 要介護3  | 2 名       | 要介護4 | 1 名  |    |      |
| 要介護5  | 名         |      | 要支援2 | 名  |      |
| 年齢    | 平均 81.5 歳 | 最低   | 72 歳 | 最高 | 95 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |          |         |      |
|---------|----------|---------|------|
| 協力医療機関名 | 公立富岡総合病院 | 公立七日市病院 | 西毛病院 |
|---------|----------|---------|------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

妙義山を臨む富岡市の郊外に位置し、近くには貫先神社があるなど、自然豊かな環境の中に民家を改装したホームがある。職員はホームの理念「家庭的で落ち着いた雰囲気」を基本に据えて、ひとり一人の性格、生活史、思いを受け止めて、入居者が自分らしく安心と潤いのある生活が送れるよう支援をしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年度の自己評価、外部評価について前任者からの引継がなく、その後の取り組みや改善状況は不明である。</p>  |
|       | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、職員全員で確認している。そこで明らかになった課題は、改善にむけて具体案を工夫し、介護の質の向上を図っていくよう期待する。</p>   |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>19年度の運営推進会議のメンバーでは特に行政からの出席を依頼し、昨年の評価の取り組みを踏まえて会議を持っている。今回の自己評価は、職員全員で確認できているので、今回の外部評価と合わせて運営会議の中で報告し、意見をもらうよう望む。また会議のみならず、ホーム運営やサービス向上を図れるように市町村担当者や窓口と連絡を取り合うことを期待する。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情処理対応の窓口はあるが、家族の方が意見・不満・苦情を出して頂けやすいように意見箱を設置した。今後は出された意見や苦情を会議の場で検討し、サービスに反映できることを期待する。</p>  |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会や老人会に加入することで、広報紙、回覧版が回ってくるので地域の情報が得られて、積極的な活動へと繋がり、また近隣の方がホームを訪れる機会になるよう実行を期待する。</p>  |

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                           | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印)                     | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                     |
|------------------------------|----|---|---|--------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |    |   |   |                          |   |
| <b>1. 理念と共有</b>              |    |   |   |                          |   |
|                              | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、これまでの理念を見直し、住み慣れた地域での安心した暮らしが出来るように、「家庭的な落ち着いた雰囲気づくり」と言う理念を柱においている。       | <input type="checkbox"/> |   |
|                              | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | ミーティングや月間行事、日頃のケアの中で理念について話し合いをしている。  | <input type="checkbox"/> | 管理者と職員は理念の具体的内容について共有して、ケアの実践をして頂きたい。                 |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |    |   |   |                          |   |
|                              | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域の町内会、老人会には加入していないので地域活動の情報が得にくい面があるが、ゴミステーションの清掃当番には協力している。また地区の中学生がボランティア活動でホームを訪れる。         | <input type="checkbox"/> | 町内会に加入する等して地域の情報を知る機会や積極的に地域の活動に参加し、地域住民との交流を図れるよう望む。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |    |   |   |                          |   |
|                              | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | サービス評価の意義や目的を全職員に伝えて、職員で自己評価の確認をした。その自己評価項目中の一部の項目については取り組みをしているが、その他は実践に至っていない。                | <input type="checkbox"/> | 自己評価と19年度外部評価の結果を全職員に報告し、改善点がある場合は、具体案を検討し実践を期待したい。   |
|                              | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議のメンバーは利用者、家族、区長、民生委員、行政、そして事業所の職員等で構成している。今回は特に行政からの出席を依頼し、参加メンバーの意見を引き出すなど、会議が活発に行われている。 | <input type="checkbox"/> | 19年度の自己評価と外部評価の結果を基に職員の意見交換をし、ホームの運営や介護の質の向上を図れるよう望む。 |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                        |
|-----------------|----|--|--|------|---|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市の高齢介護課と電話で連絡をしている。  | ○    | 市の担当窓口と連絡を取り、協力をお願いしたり、事業所と行き来する機会を作り、ケアサービスに取り組んで頂きたい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |  |      |   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 利用者の暮らしぶりや健康状態は希望者には電話や手紙、写真で伝えるとともに、利用料支払いに見える家族にも直接伝えている。金銭についてはホームでは預からず、必要時は家族に連絡を取り領収書と共に詳細を報告している。 | ○    | ホーム便りを作成し、日常生活の様子をご家庭へ伝えられるよう期待する。                      |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族がホームを訪れた際にはなんでも言ってもらえる雰囲気作りをしている。最近、「意見箱」を設置した。  | ○    | 今後は出された意見や苦情を会議の場で検討し、サービスに反映できることを期待する。                |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの管理者、職員が移動する際は利用者には話をし、理解して頂いている。   | ○    | 職員の移動による利用者への影響を最小限になるよう考えて、引継や申し送り等のマニュアルの作成を検討して頂きたい。 |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |  |      |   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | グループホーム協議会、防火管理者等の研修を受講している。又今年より事業所外の研修に職員全員参加を計画している。研修終了後は研修の報告するなど職員間の共通認識を図っている。                    |      |   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | ケア協議会の管理者会議やケアマネージャー会議等に出席、他業者と交流の機会を持っている。又今年より交換研修を実施する予定である。  |      |   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|----|---|--|------|---|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |   |  |      |   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |   |  |      |   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に本人、家族にホームへ来て頂き、見学していただいているが、馴染める為の時間が少なく、やむを得ずの入居となる。ホームの雰囲気に馴染める時間が少ないこともあり家族と話し合うように努めている。 | ○    | 本人が安心して、納得した上でサービスを利用して頂くために、職員が家庭を訪問して、暮らしぶりについて情報収集し、可能であれば体験利用をしていただき、人間関係を築き馴染めるための工夫をして頂きたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |   |  |      |   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 職員は行事などで一緒に過ごした事などを話題にコミュニケーションを図り、喜怒哀楽を共にしている。利用者は人生の先輩であるという考え方を共有し、普段から利用者に教えて頂く姿勢を大切にしている。   |      |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |      |   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |   |  |      |   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々の関わりの中で声をかけ、ひとり一人の思い、希望の把握につとめている。   | ○    | 入居前の生活歴や、思いをご家族や関係者から情報を得て、本人が何をしたいか、どのように暮らしたいのかを理解し支援をするよう期待したい。                                |
| 1人                                 |    |   |  |      |   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している         | 本人が自分らしく暮らせるように、日頃の関わりの中から、本人・家族から要望を聞き、職員全員で意見交換をし、ケアマネージャーが介護計画を作成している。                        |      |   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している     | 介護計画の見直しは3ヶ月の期間で行い、状態の変化した際には随時見直しを行なっている。   | ○    | 介護計画と照らしあわせ今の状況を確認し、本人・家族の要望を取り入れつつ、ケア関係者の最新の情報や気づきから実情に即した対応をするためにも介護計画の月1回程度は見直しをするよう望む。        |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------------------|----|---|---|------|--|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |   |      |  |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人・家族の状況に応じて、通院の送迎、行事の希望を聞く等柔軟な支援を実施し、一人ひとりの満足度を高めるよう努力している。  |      |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |   |      |  |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | ホームでは本人・家族が希望するかかりつけ医に受診できることになっており、基本的には家族同行の受診としている。家族の都合で同行不可能の場合は職員が代行する等、希望に応じて対応している。また受診後は体調も含めた状況を電話で家族に報告している。 |      |  |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族には利用者の状態が重度化した場合に伴う意志を確認し、事業所が対応し得るそれぞれのケアについて説明を行なっている。  | ○    | 状態が重度化した場合を想定し、利用者や家族が安心してサービスを利用できるよう介護研修を実施してもらいたい。また終末期ケアについてもホームの方針を検討して頂きたい。  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |   |      |  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |   |      |  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |   |      |  |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | ひとり一人の性格を知り、さり気ない言葉かけや対応の徹底を図っている。書類などの個人情報の取り扱いは事務室に整理整頓されて保管されている。  | ○    | 職員ミーティングでは、利用者のプライバシー確保に対する意識向上を図ると共に、リーダーは日々関わり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応を職員に徹底することを期待する。また個人情報保護法に基づいて個人情報の取り扱い方針を作成し、その内容を掲示するとともに家族等への説明することを望む。 |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | ひとり一人の体調に配慮しながら、その日、その時々本人の気持ちを尊重し、散歩をする等、柔軟に対応している。  |      |  |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                  |
|--------------------------------------|----|---|--|------|--|
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事の準備や食後の片付け等利用者と共に行い、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるよう雰囲気づくりも大切にしている。                         |      |  |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 週2回の入浴を基本としているが、希望によりその都度個々に対応している。又入浴できない人には清拭や部分浴を行なっている。                              |      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |  |      |  |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ひとり一人の力を発揮してもらえよう、して頂ける仕事を頼み感謝の言葉を伝えている。また外出や行事計画等の楽しみごとを利用者と相談し行なっている。                  |      |  |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | ひとり一人の習慣や希望に合わせて、ホームの隣の神社へのお参りや散歩等外出する機会を設けている。また脳活性化リハビリプログラム「自立生活支援表」を取り入れて、個別に支援している。 |      |  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |  |      |  |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 全職員は鍵をかけることの弊害を理解し、日中は玄関の鍵は掛けていない。   |      |  |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年1回避難訓練を消防署、区長、民生委員が参加し実施している。その折に救急法の講習も受けている。  | ○    | 地域の協力体制については、運営推進会議で協力を呼びかけて頂き、連絡網については緊急時に分かり易く壁に掲示するよう工夫をして頂きたい。 |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                     |
|---------------------------|----|---|--|------|---|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 職員は食事や水分摂取状況を毎日把握し、介護記録に記載し、職員間で共有している。  |      |   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |      |   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関には紫陽花の花が置かれ、食事を作っている音が聞こえてくる。季節感や五感を刺激するものを意識的に取り入れる工夫をしている。、トイレの前の廊下は昼間でも暗く入り口は段差があり、テレビの横にCDデッキが置かれ両方からの音が入ってくる。 | ○    | 安全を考慮しトイレ前の廊下の照明を明るくなるよう検討し、又テレビとデッキが近い位置で同時に使うことないよう時間や音量に気を配って頂きたい。 |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 写真や使い慣れたものが居室に持ち込まれて、居心地のよさに配慮している。  |      |   |